

# U.S. Indicators

## 米国 大型ハリケーン襲来で下振れ(17年8月小売売上高)

公表日：2017年9月15日(金)

～市場予想を下振れたうえ、過去の数字が下方改定～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

### 小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
			除く車		自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン
16/08	+0.1	(+2.4)	▲0.0	+0.5	+0.7	▲0.5	+0.5	▲0.2	+0.6	▲2.1
16/09	+0.8	(+3.2)	+0.7	+1.0	+1.0	+2.3	▲2.5	+0.7	+0.1	+3.2
16/10	+0.6	(+4.0)	+0.5	+0.6	+0.7	▲0.7	▲0.5	+0.8	▲0.1	+2.6
16/11	+0.1	(+3.7)	+0.2	▲0.0	▲0.2	▲0.3	▲0.2	▲0.0	+0.1	▲0.5
16/12	+0.9	(+4.0)	+0.3	+2.2	+3.1	▲0.9	▲0.5	+0.6	▲0.1	+3.2
17/01	+0.5	(+5.6)	+1.1	▲0.6	▲1.6	+1.8	+1.4	+0.9	+0.7	+2.2
17/02	▲0.2	(+4.7)	+0.1	▲0.5	▲1.5	+0.4	▲1.3	▲0.1	▲2.6	▲0.0
17/03	+0.1	(+4.8)	+0.3	▲0.5	▲0.5	+1.7	+2.8	+0.4	+2.0	▲1.0
17/04	+0.3	(+4.5)	+0.3	+0.4	+0.5	▲0.5	+1.8	+0.4	+0.2	▲0.5
17/05	+0.0	(+4.2)	▲0.2	+0.7	+1.1	+1.0	▲1.5	▲0.4	▲0.0	▲3.1
17/06	▲0.1	(+3.0)	▲0.2	+0.4	+0.4	+0.5	▲1.2	▲0.4	+0.7	▲1.4
17/07	+0.3	(+3.5)	+0.4	+0.1	▲0.0	▲0.5	▲1.0	+0.5	+0.5	▲0.7
17/08	▲0.2	(+3.2)	+0.2	▲1.2	▲1.6	+0.4	▲0.7	+0.2	▲1.0	+2.5

(注) 数字は季調済前月比。但し、( )内は前年同月比(未季調)。

\*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

\*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

### 8月の小売・飲食サービス売上高は、前月比▲0.2%と失速

17年8月の小売・飲食サービス売上高(速報値、季節調整値)は、前月比▲0.2%(前月同+0.3%)と市場予想中央値の同+0.1%に反して減少したうえ、6、7月合計で0.7%p下方改定されており、ヘッドラインの数字以上に弱い内容となった。大型ハリケーン「ハービー」の襲来によって自動車など耐久財の販売が大幅に落ち込んだ。

内訳をみると、家具、ガソリンスタンド、スポーツ用品・本・趣味用品、飲食店が増加に転じたほか、食品・飲料が加速した。また、その他小売が鈍化したものの高い伸びを維持した。一方、家電の減少が続くもと、自動車・同部品、建設資材、衣料品、通信販売が減少に転じたうえ、百貨店など一般小売、薬局が減速した。

### 8月の小売・飲食サービス売上高では、自動車・同部品が最大の押し下げ要因

8月の小売売上高の前月比(▲0.21%)の寄与度をみると、プラス寄与の業態では、ガソリンスタンドが+0.19%と最大の押し上げ寄与となった。それ以外では、飲食店が+0.04%、食品・飲料が+0.03%、その他小売りが+0.03%、百貨店を含む一般小売が+0.02%、家具が+0.01%、薬局が+0.01%と続いた。一方、マイナス寄与の業態では、自動車・同部品が▲0.33%と最大の押し下げ要因となり、次いで、通信販売が▲0.12%、衣料品が▲0.04%、建設資材が▲0.03%、家電が▲0.01%となった。スポーツ用品・本・趣味用品は0.00%。

### 8月の自動車を除く小売売上高は前月比+0.2%と減速

変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.2%(前月同+0.4%)と市場予想中央値の同+0.5%を下回ったうえ、6、7月合計で0.4%p下方改定された。家具、ガソリンスタンド、スポーツ用品・本・趣味用品、飲食店が増加に転じたほか、食品・飲料が加速した。また、その他小売が鈍化したが高伸びを維持した。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

一方、家電が減少を続けたほか、建設資材、衣料品、通信販売が減少に転じ、百貨店など一般小売、薬局が減速した。

**8月のコア小売売上高は前月比▲0.1%と失速し、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率+1.3%と急減速**

小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、前月比▲0.1%（前月同+0.5%）と失速したうえ、6、7月合計で0.3%p下方改定された。家具、スポーツ用品・本・趣味用品、飲食店が増加に転じたほか、食品・飲料が加速したものの、衣料品、通信販売が減少に転じたうえ、家電が減少し、百貨店など一般小売、薬局が減速した。

また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でも+1.2%（前月+2.6%）と大幅に鈍化しており、コア小売売上高の拡大モメンタムは急激に弱まっている。

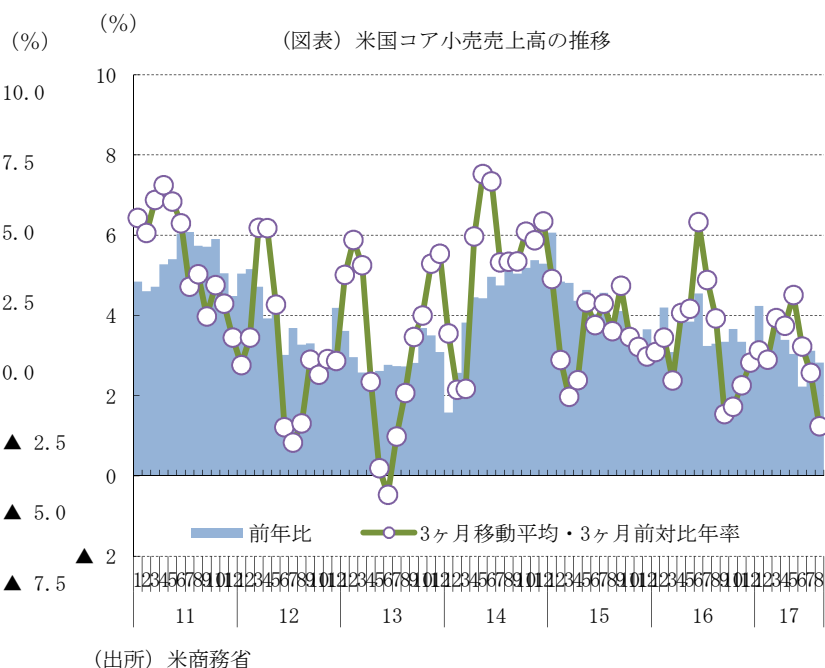
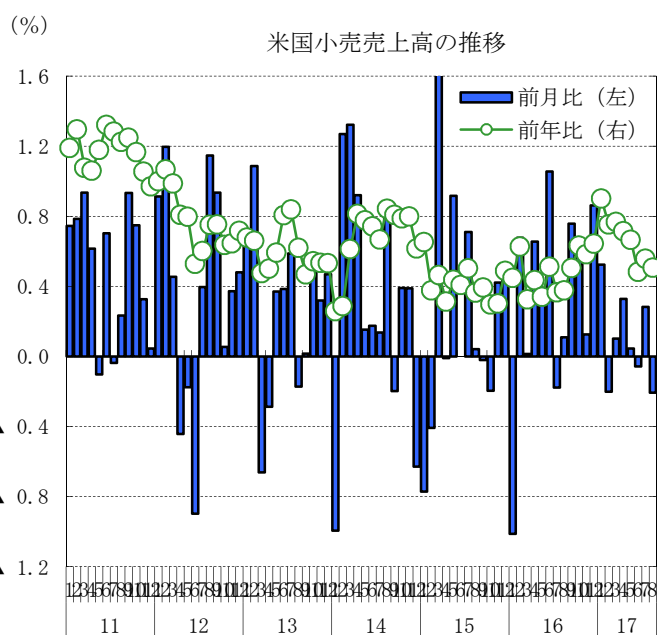
**7-9月期の実質個人消費は前期比年率+2%程度に鈍化する見込み**

7、8月のコア小売売上高（平均）は、4-6月期比年率+1.3%と4-6月期の前期比年率+3.2%から鈍化しており、7-9月期の実質個人消費は同+2%程度に鈍化すると予想される。

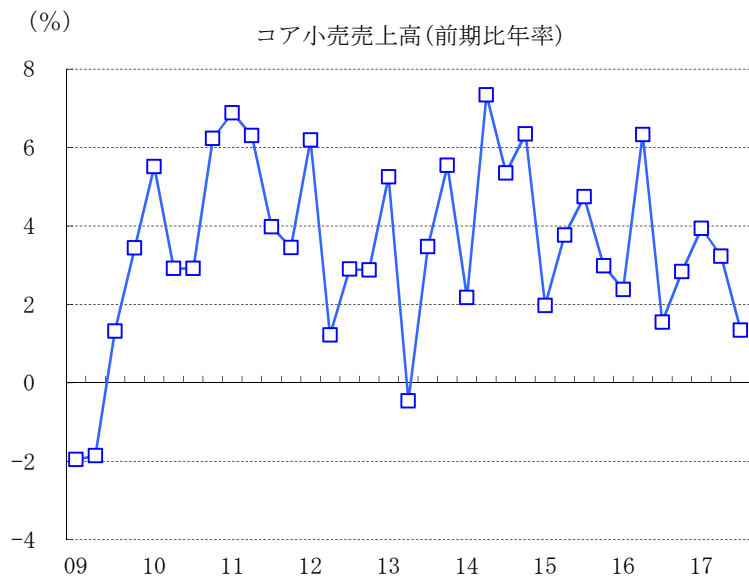
また、過去の数字の下方改定を受け4-6月期の実質個人消費は前期比年率+3.2%から同+3.0%程度に下方改定される見込み。

**9月中旬以降に持ち直しが明確化へ**

9月の小売売上高は、大型のハリケーン「イルマ」がフロリダ州に襲来したことで、弱い数字になる可能性が高い。もっとも、このような下振れは小売売上高の基調の変化を示すものではない。全米での雇用・所得の増加傾向、株等の資産価格の上昇、消費者マインドの安定等、消費を取り巻く環境は足下で良好な状態を続けており、目先悪化する可能性は低い。小売の基調を示すコア小売売上高のモメンタムは、スマートフォンの新製品の発売、復旧・復興需要などもあり9月中旬以降急激に強まると予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(出所) 米商務省データより作成。

(注) コア小売=建設資材・ガソリン・自動車を除いた小売売上高 (四半期)